



# クイーン倶楽部だより 5月号

2016年  
第159号

ERN 有限会社エコ・ライス新潟  
新潟県長岡市脇川新田町字前島970-100  
TEL 0258(66)0070 FAX 0258(66)0447  
URL <http://www.eco-rice.jp/>  
E-mail [eco-net@nekonet.ne.jp](mailto:eco-net@nekonet.ne.jp)

## 平成28年熊本地震で被災された皆様に 心よりお見舞い申し上げます

この度の地震により被害にあわれました皆様に心からお見舞い申し上げます。  
余震が続き落ち着かない日々が続いておりますが、可能な限りお手伝いをさせていただきたいと考えております。被災地域の安全の確保と、一日も早い復興と皆様のご健康を心からお祈り申し上げます。



熊本県腎臓病患者連絡協議会の今井会長

### 熊本地震 支援の輪、少しずつ広がる

## アレルギー・人工透析患者も食べられる非常食を

4月14日に発生した熊本地震。沢山の方々が被災され、避難所での生活が続いています。少しずつ支援の手が広がっていますが、食物アレルギーや人工透析患者など、食事制限がある方の支援はどうしても後回しになってしまいます。

エコ・ライスは、尾西食品(株)、(株)美松、NPO法人プロジェクト88と共同でアレルギー不使用のクッキー、たんぱく制限者も食べられるはんぶん米(アルファ米)などを被災地へトラックで22時間かけ、2回搬入しました。

中越地震の際、全国の皆様からご支援いただいた感謝の気持ちを、少しでもお返しすることができればと願っています。



中村 信也(なかむらのぶや)

医学博士。東京家政大学家政学部栄養学科教授として教鞭をとり、「食と医療」の医療薬膳研究の第一人者として活躍中。

### ドクター "N" の 私にも一言言わせて

その13

※ドクター…英語で博士の意味

## 天災防衛のすすめ

熊本地震が本震と余震の区別難解で複雑長期化の様子を呈してきました。テレビで避難所への入所者の様子を見て、これではだめだ、こつすべきと思うことがあり、今回したためてみました。テレビや新聞で見ると限りでは、避難民はその日に広い空間に緊急避難し、そのまま今後どうなるかさっぱり解らず、不安な日々を送るということになりそうです。平凡な暮らしがある日突然に途絶え、寝る場所も台所も風呂も消失し、茫然自失の状態がずっと続くというだけでも解決する気が起きません。

一刻も早く自失から救うには「自分たちの居場所を行政が提供してあげるべきでしょう。直ちに体育館を段ボールで仕切つてあげて、ここがあなた方の部屋(空間)ですと差し上げるべきです。家族が自分たちの空間に集まり、これからどうしよう」と話し合い、落ち着かせます。食べ物、飲み物は何とかなるでしょうし、風呂もそれからのことでしょう。

体育館での仕切生活も一時的緊急避難で次のステップに移ります。第2弾の思いやり行政は、家族のためのハウスの提供です。煮炊きもできるようにします。それには、パネルを組み立てるだけで、数時間で完成、というものでなければなりません。ここで数か月生活しながら将来のことを具体的に考えます。

今後の天災に備えて、この2ステップ、ブライバシー供与技術を行行政は完成させるべきです。段ボール、パネルはあらかじめ災害センターに貯蓄して、ただちに現場に運搬する形を取るべきです。終了したら撤去して、またセンターに運び込み、将来に備えるという災害迅速場提供技術を完成せねばなりません。

国土防衛には侵略防衛と災害防衛があります。災害防衛にもっと最新機器を投入し、迅速対処せねばなりません。かつて、米軍は、まずブルドーザーを投入、道を開き、兵站を作り、そして兵を運ぶ方式で、日本軍を追い詰めてきました。天災の場も戦場とみなし、自衛隊が迅速に出動し、災害技術を駆使してもらいたいと思つた次第です。